

たいまんだら
40. 當麻曼荼羅

■ 指定日

平成11年3月29日

■ 種別

有形文化財 工芸品

■ 年代

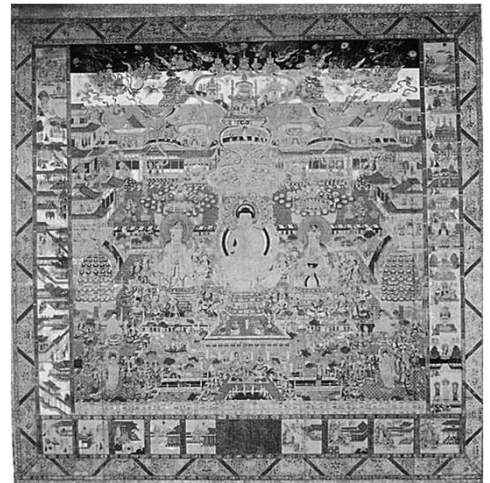
江戸時代

■ 所在地

朝来市生野町口銀谷

■ 所有者

来迎寺



■ 内容

寛永5年(1628)6月、浄土宗西山派本山禅林寺の貞準大和尚が来迎寺に納めたもの。貞準大和尚は、銀山の士である吉井家の出身で仏縁があったことからこの寺において剃髪し、後に本山禅林寺に住し貞準と改め、そのみぎりに両親菩薩衆生結縁之為にと奉納されたものである。

この中国の浄土教の大成者善導大師の説に基く曼荼羅は、阿弥陀浄土変相図といい、わが国に伝えられた浄土変相図の中でも圧倒的に雄大な構図をもつ。